

粃米サイレージ（SGS）の利用（淡路飼料生産組合：南あわじ市）

粃米サイレージ用稲を生産する耕種農家と畜産農家で構成する生産者団体が、輸入割合が高い濃厚飼料を生産する取組

1. 取組概要

- ・団体名等：淡路飼料生産組合
- ・住 所：兵庫県南あわじ市
- ・栽培品種：飼料用米専用品種（多収品種）の「夢あおば」、「みなちから」
- ・耕種農家：8名（面積：7 ha）
- ・畜産農家：1名（酪農）



2. 取組に至った経緯

1. ウクライナ情勢等により濃厚飼料の輸入価格が高騰し、経費削減につながる国内飼料の利用拡大が必要であることから、農作業閑散期に取り組める粃米サイレージに着目。
2. 粃米サイレージは高栄養価で、輸入される濃厚飼料の代替の可能性があることや、収穫作業が通常のコンバインで可能であることから導入の検討を進め、令和4年度から開始。

3. 生産工程等



【1次保管】



【粉碎作業】



【加水作業】



【破碎米】

1. 栽培ほ場には、構成員及び淡路島内の畜産農家の堆肥（原料：牛糞、もみがら）を利用。
2. 粃の水分量を18%程度まで立毛乾燥させたのちに収穫、フレコンバックで1次保管。
3. 冬季に粃米を専用機械で粉碎、加水し、乳酸菌等を加えて約2か月程度の発酵期間。

4. 実績と効果

1. 配合飼料に10%ほど混ぜ込み給餌しているが、乳質の低下は見られない。
2. 粃米サイレージは濃厚飼料である圧ぺんとうもちろしの代替として経費削減に繋がった。
3. 作付面積は3 ha（R4）から7 ha（R5）に拡大。

5. 今後の目標

1. 取組面積の拡大（7 ha→20ha）。
2. 配合飼料への配合割合（20%～30%）の実証。
3. コントラクターを立ち上げ、幅広い飼料生産の取組。
4. 粃米の粉碎機について、今後、メンテナンスに係る部品の入手が困難となるため、淡路瓦の原料となる粉碎土を製造する機械の代用を検討。